

【教育目標】 未来を拓き 創造する子の育成



雨紛っ子

学校だより

令和6年度

第6号

令和6年10月31日

生きてるだけで、まるもうけ

校長 佐藤 純一

休んだり、気を抜いたりするのが苦手だと感じることって、ありませんか。

みんな頑張っているのに自分は……。みんな有意義なことをしているのに自分は……。みんなだって、休みたいのを我慢して休まず活動をしているのに自分は……。共通しているのは、「何か頑張ることがよいことだ」、「休むためには頑張っている前提が必要だ」などの思いです。これが強くなると、『大したことをしていないのに休んではいけない』という、いわゆる世間の空気になるそうです。だから、休んだり、気を抜いたりすることが上手にできないし、周りに対しても認めることができない。私も我が子に「何でそんなにダラダラしてるの？宿題は？ダラダラするなら宿題やってからにしたら」と言ったことがあります。大切なことを忘れてしまうことがあるんですね、生きてるだけで頑張っているということ。標題の「生きてるだけで、まるもうけ」は、芸人・明石家さんまさんが、娘さんに「いまる」と命名した当時、話題になったフレーズで、ご記憶されている方もたくさんおられるのではないのでしょうか。

昨年10月公表の文科省調査によると、小中学校における不登校児童生徒数は299,048人であり、前年度から22.1%増。疲れ切って、しんどい思いをしている子どもたちの数は過去最多、10年連続の増加となっています。雨紛小の子どもたちが、学芸会などの活躍の場で、伸び伸びと自己表現をしたり、雨紛囃子保存会をはじめとする地域の方々と交流したりして、楽しく学校生活を過ごしている姿を見ながら、ふと、29万人あまりの子どもたちは、今年の学芸会や学校祭を、一体どんなふうにご覧になっているのだろうと考えてしまいました。安易に、こうしたらいいと言えるものではありませんが、「生きてるだけで、まるもうけ」、少しでも自分らしく過ごしてほしいと願わずにはいられません。

さて、今年度の学芸会も、保護者の皆さん、ご家族の皆さん、地域の皆さんの、たくさんのご来校のもと、無事、終えることができました。ありがとうございました。劇の中で、役柄の心情を想像し、その思いを動作や声色で表現した子。合唱や合奏の中で、みんなと音色やリズムを合わせることに心地よさを感じ、その楽しさを体いっぱい表現した子。お囃子の拍子に込められた息吹にひたり、先人に思いをはせながら太鼓を叩いたり、舞を披露したりした子。今年も、そんな子どもたち一人ひとりの成長した姿を、皆さんと一緒に見届けることができた素敵な学芸会となりました。本当にありがたいことです。

標題の通り、人生は生きてるだけで丸儲けです。雨紛小の子どもたちが、時に休みながら気を抜きながら、これからも自分らしく伸び伸びと自己表現ができる学校でありたい、子どもたちが主役の学校でありたい、そんな思いを改めて強くした学芸会でした。

学芸会



ご来校ありがとうございました

地域のご参加ありがとうございました

10月19日（土）の学芸会には、たくさんの方々に子どもたちの頑張りをみていただきました。ご来校ありがとうございました。

どの子ども、これまでの練習の成果を発揮して、音楽や劇、お囃子に一生懸命取り組んでいました。

また、昨年度に引き続き、「地域発表」も行いました。次の方々に参加していただき、素晴らしい発表や作品展示をしていただきました。本当にありがとうございました。

これからも、地域とともに歩む学校づくりを推進して参りたいと思います。今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

<参加していただいた方>

- ◆「雨紛囃子」
雨紛囃子保存会 様
- ◆「動物のうた」
〇〇 〇〇 様
- ◆「折り紙細工」
〇〇 〇〇 様
- ◆「イラスト」
〇〇 〇〇 様



【 11月の主な行事予定 】

- 1日(金) 安全点検
- 3日(日) 文化の日
- 4日(月) 振替休日
- 8日(金) 不審者対応避難訓練
児童会活動
- 14日(木) 旭川市小規模・複式研究連盟実践
発表会
- 18日(月) 旭川市立小中学校適正配置計画説明会
- 20日(水) 本の読み聞かせ
- 21日(木) 諸費納入日 ALT来校
三者協議会
- 22日(金) 人権教育プログラム(3年生以上)
クラブ活動
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 26日(火) スクールカウンセラー来校
- 29日(金) 地域公開参観日

